

日本一の米づくりに向け健苗育成からスタート！

丁寧な種子予措、温度管理で良好な出芽揃いを確保！

山形おいしさ極める！米づくりプロジェクト本部

【気象の状況】

4月7日発表の東北地方の1か月予報では、向こう1か月（4月9日～5月8日）の気温は高く、降水量と日照時間はほぼ平年並みの見込みとなっています。また、2週間気温予報では、4月9日から平年よりかなり高い気温が続く見込みです。

◎当面の技術対策

適期に田植えができるようにスケジュールを立て、丁寧な種子予措、播種を行います。

気温が高くなる予報となっているので、浸種の際は、こまめな水温の確認や種子袋の位置の入れ替えを行うなど、温度ムラが出ないように丁寧な管理に努めましょう。また、出芽を揃えるため、育苗床は早めに準備し、地温を確保しましょう。

（1）浸種の積算温度をしっかりと確保！

浸種の水温は10～15℃を確保するように努めます。特に、これから種子予措の作業に入る場合は、種子消毒や浸漬開始時の水温が10℃以下にならないように注意しましょう。令和3年産の種子は、登熟期間が高温で経過したことから、休眠が深い場合があります。

「つや姫」や「雪若丸」「はえぬき」等は積算水温120℃を目安に十分浸種を行い、吸水不足・吸水ムラがないようにしましょう。

（2）催芽は芽切れをしっかりと確認！

催芽は、種籾の最適発芽温度（30～32℃）で概ね20時間を目安に行います。催芽を終える時は、ハト胸状態になっていることをしっかりと確認しましょう。

（3）適切な播種量で健苗育成！

苗の種類別の播種量や出芽方法・育苗日数などを考慮し、適期に播種を行いましょう。また、「雪若丸」等の千粒重が重い品種を播種する時は、適切な播種量となるよう、播種機を必ず調整します。

気温が高くなる予報となっているので、各品種とも葉や葉鞘の伸びすぎに注意しましょう。葉齢が揃い、下葉まで葉色が濃く茎の太い丈夫な苗を育成しましょう。

苗の種類と播種量、育苗日数の目安

	葉数 (枚)	播種量 (g/箱)		育苗日数 (日)
		乾籾	催芽籾目安	
稚苗	2.2～2.5	150～180	180～210	20～25
中苗	3.2～3.5	80～120	100～150	30～35

（4）育苗床の地温確保と細やかな温度管理！

育苗ハウス等は早めに準備して、苗床を十分暖めてから苗箱を並べましょう。特に、無加温出芽の場合は、しっかりと苗床の地温を確保した上で苗箱を並べ、適切な被覆資材の使用と、きめ細かな温度管理で、良好な出芽揃いを確保しましょう。

STOP!農作業事故 農作業事故防止運動春季強化期間(4/10～6/10)